

(参考様式6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）  
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成30年8月22日作成

活性化計画名	寺井地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
松阪市	242047	1	H27～H29	H27
活性化計画の区域				
三重県松阪市笹川町 寺井地区 229ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	2年	2年	100	

農業基盤整備に向け、平成27年度に調査、設計、計画の基本となる地形図の作成及び地区内農地等の状況調査を実施し、平成28年度に事業計画書の作成及び県営事業の採択を受け、計画通り平成29年度から県営ほ場整備事業を開始することができた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
地形図作成・農用地等集団化	地形図作成・地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成			松阪市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
松阪市	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業の効果				
県営ほ場整備事業採択に向けての事業計画書作成のための事前調査として、地形図作成及び農用地等集団化のための各業務を実施し、計画通りに平成29年度から県営ほ場整備事業を開始することができた。				

### 3 総合評価

本地区内の農地は区画が狭小で不整形、水路は用排水兼用の土水路、農道は幅員が狭く、農業生産が極めて不利な状況である。  
今回、農業基盤整備の早期実現に向け、当該事業により地形図等を作成したことにより、円滑にほ場整備事業に着手することができた。  
今後、ほ場整備事業の完了により、農業後継者の意欲の向上及び定住の促進化に期待が持てるものであると判断できる。

### 4 第三者の意見

事業活性化計画の目標である2年後に区画整理事業に着手することができた。また、寺井地区の地権者と十分に協議を重ね、地域の要望を反映した事業計画書となった。今後の地域農業を担う若い後継者が期待を持てる計画書が作成でき、工事の着手に繋げることができた。このことから上記の評価内容は妥当と判断できる。

(松阪市農業再生協議会員 松阪土地改良区連絡協議会長 浅井重久)